

第4章

協働による取組み



市が市民（市民団体等）・事業者と協働して行った
環境への取組みの実績等を記載しています。

多摩市の環境づくりを進めていく上で、“市民、事業者、行政の協働”（みんなの協力）も重要です。そのためには、市民（子どもを含む）、事業者、行政がそれぞれの役割を認識し実践するとともに、相互のパートナーシップを築いていくことが欠かせません。

1. 協働による環境への取り組み実績

令和4年度は次の110以上の団体等と協働して、環境保全・環境美化・ごみ減量活動等を実施し、延べ約7,800人の参加がありました。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内 容
4月1日～ 3月31日	アダプト制度による 公園施設等の管理	51団体 43公園	諸団体	各市民団体が公園施設等の身近な公共空間の美化及び清掃活動を行うことで、環境に対する市民意識の高揚が図られ、協働によるまちづくりを推進した。
4月1日～3月 31日	グリーンボランティア	市と協定を結ぶ 13の市民団体 多摩中央公園等	諸団体	市とのパートナーシップのもと、公園、緑地等について自主的に維持管理を行うことで、みどりの保全、育成及び創出が図れた。
4月1日～3月 31日	公園愛護会による 公園清掃	51団体 81公園	諸団体	地域住民・自治会・老人会等により組織された団体が、主に街区公園を対象として清掃を実施し、公園の愛護意識の向上が図れた。
4月1日～ 3月31日	鶴牧西公園 果樹の谷管理	4団体 鶴牧西公園	諸団体	市民の手による果樹園の維持管理と自然を理解し親しむための活動を通して、人々のふれあいの場ができ、収穫の喜びを分かち合えた。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内 容
4月1日～ 3月31日（年 末年始をのぞ く）	転入者ごみ分別 説明窓口	5116人	※エコ・フレンドリー 多摩市	市役所1階ロビーにごみ相談窓 口を設置し、転入者や来庁し た市民に多摩市の分別ルー ルに基づくごみの出し方を説明 し、ごみ減量・資源化の普及 啓発を行った。
—	リユース食器 貸出事業	新型コロナウイ ルス感染症拡大 により中止	※エコ・フレンドリー 多摩市	例年、イベントやお祭りで大 量に出る使い捨て容器や割り ばしの替わりに、繰り返し使 えるリユース食器を無料貸出 しすることでごみ減量を推進 している。食器の洗浄・殺 菌・貸出準備業務や普及啓発 を行い、市民のごみ減量意識 の向上に努めているが、コロ ナ禍において貸出しは中止と した。
4月24日 11月23日	一ノ宮用水の 川の生き物調査	調査参加者 延べ30人	よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 多摩市水辺の楽校 運営協議会	環境に配慮した一ノ宮用水路 の護岸工事の効果を把握する とともに、生物多様性に関す るデータを得るために、平成 26年度から市民協働による生 き物調査を実施している。
4月23日	多摩市水辺の楽校 楽校式	19人	多摩市水辺の楽校 運営協議会	平成22年3月に国土交通省に 登録し、市も参画している。 さまざまな観察会等を企画し ながら子ども達の水辺の自然 に親しむ機会と体験を増やし ている。

※…協働指定委託事業受託者

実施日	取組名	参加者等	主催等	内 容
5月19日 5月20日 5月21日 5月23日	「まち美化キャンペーン ～ごみゼロデー～」	261人	多摩市まち美化 推進協議会 廃棄物減量等推進員 多摩市	5月30日の「ごみゼロデー」 に合わせて、ごみの散乱防 止・減量啓発のキャンペーン を市内4駅で実施した。平成 26年度から環境施策の効果 的・効率的な推進を目的に、 ごみ対策課と合同で実施。
4/26,5/24 6/28,7/26 8/23,9/27 10/25,11/22 12/11,1/24 2/28,3/28	生ごみリサイクルサロン	参加延べ人数 82人	ダンボくらぶ 多摩市	ダンボールコンポスト等を使 用した生ごみの自家処理・生 ごみ堆肥の作り方の相談会 (サロン)を行い、生ごみ処 理の普及に努めている。
—	川の生き物 調査・観察会	新型コロナウイ ルスの影響によ り中止	多摩市環境行事 実行委員会	多摩川と大栗川の合流点付近 で河原の植物や水生生物の観 察等を行うことにより、子ど もだけでなく保護者にも自然 への興味や知識を深めている。
6月5日	全国一斉水質調査	4人	多摩市水辺の楽校 運営協議会	多摩川・大栗川・乞田川の水 質を一斉に調査した。
—	安全講習会と川遊び	新型コロナウイ ルスの影響によ り中止	多摩市水辺の楽校 運営協議会	水辺での行事実施時に、川の 安全教育と川遊びを実施し た。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内 容
5月17日 6月30日 9月15日 1月30日	環境出前教室	・小学校 3校 7クラス ・保育園 1校 1組	たまごみ会議 多摩市	小学校や保育園に出向き、ごみ・資源などについて授業を行う。 小学校では、小学4年生を中心に、ごみ・資源の分別やゆくえ、処理方法について知り、ごみを減らすための工夫、4Rについて考えるための授業を実施した。
7月～9月	多摩市 身のまわりの 環境地図作品募集	応募者数 33人	多摩市身のまわりの 環境地図作品展 運営委員会	身のまわりの環境についてを、地図として表現することを通じて、環境への興味を深めるとともに、疑問に感じたことなどを調査し、それを地図にするという工夫・学習の楽しさや大変さを体験する。
—	大栗川水辺まつり	新型コロナウイルスの影響により中止	【主催】 よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 【協力】 多摩市水辺の楽校 運営協議会	大栗川（東寺方小学校付近）で、手作りのイカダに乗りながら、豊かな川の自然に触れ、環境への興味を深めてもらおうと共に清掃活動を行う。
毎月 第1日曜日	大栗川清掃活動	延べ206名	【主催】 よみがえれ、 大栗川を楽しむ会 【協力】 多摩市水辺の楽校 運営協議会	毎月第1日曜日、実際に大栗川の中に入って、清掃活動を実施している。清掃後はごみを分類し、データ分析も行っている。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内 容
—	乞田川の恵み (生きもの調査・ 観察会)	雨天中止	多摩市水辺の楽校 運営協議会	乞田川でガサガサを行う。
10月1日 11月12日 12月3日	環境学習セミナー	延べ27人	多摩市民環境会議 多摩市	環境に興味のある方、これから環境活動をしてみたい方などを対象に、フィールドワークも取り入れて開催する。
—	多摩川カヌー体験 教室	新型コロナウイルスの影響により中止	多摩市水辺の楽校 運営協議会	子どもを対象として、多摩川の水辺に親しみながらカヌーを体験する教室を行う。
—	環境ウォッチング	新型コロナウイルスの影響により中止	多摩市環境行事 実行委員会	大谷戸公園キャンプ練習場と都立桜ヶ丘公園内で、自然観察や脱穀体験、クラフト作り等を行う。こうした自然に親しむきっかけをすることにより、子どもだけでなく保護者にも自然への興味や知識を深めることができる。

実施日	取組名	参加者等	主催等	内 容
10月27日 10月28日 10月29日 10月31日	「まち美化キャンペーン ～市民清掃デー～」	180人	多摩市まち美化 推進協議会 多摩市	11月の「市民清掃デー」の時期近くに合わせて、歩行喫煙をはじめ、吸い殻・空き缶等のポイ捨て行為によるまちの環境悪化を防止するため、多摩市まち美化推進協議会や市民・市民団体・事業者・学校等の協力により実施する。具体的には市内4駅周辺での清掃活動や、「多摩市まちの環境美化条例」の周知を行う。また、健康推進課とも協働し、多摩市受動喫煙防止の観点から喫煙マナーの向上のための周知・啓発活動も実施する。
作品展 12月1日 ～3月31日 表彰式 12月10日	多摩市身のまわりの環境 地図作品展・表彰式	作品展 1,138人 表彰式 20人	多摩市身のまわりの 環境地図作品展 運営委員会 多摩市	優秀賞受賞作品及び奨励賞受賞作品を表彰するとともに全作品を多摩市公式ホームページ（オンライン）上で展示する。
12月10日 12月11日	多摩市 消費生活フォーラム&エコ・フェスタ2022	647人	消費生活フォーラム& エコ・フェスタ 2022実行委員会	多摩市の消費者団体、環境団体、行政、企業などが集まり、暮らしや環境に関わる様々な問題について幅広い視点から情報を発信し、考えるイベントである。
12月10日	まち美化貢献者・団体 表彰式	3人	多摩市まち美化 推進協議会 多摩市	まち美化に貢献した団体を表彰した。
2月5日	冬鳥観察会	30人	多摩市水辺の楽校 運営協議会	多摩川に生息する冬鳥の観察会を行う。

2. 人づくりに向けて

(1) 環境教育の充実

環境を大切にする「心」を育てるためには、子どもの頃から自然や生き物とふれあい、環境を大切にする心を育てていくことが重要です。

多摩市では、持続可能な社会の担い手を育成するため、「2050年の大人づくり」をキャッチフレーズとして、市内の全小・中学校でE S D（Education for Sustainable Development）の取組みを進めています。環境教育はその重要な一躍を担っています。



市内の全ての小・中学校で社会科、理科、家庭科、生活科などの教科学習、あるいは、総合的な学習の時間、「特別な教科 道徳」や特別活動などを通じ、水、土、空気、騒音、ごみ、リサイクル、草花栽培、樹木の保全活動などを取り上げています。

(2) 環境学習の拡充

子どもから大人まで生涯を通じて環境にやさしい行動をする人を育てるため、地域ぐるみで環境について学び、実際に体験するための場や機会を提供していきます。

市内では、グリーンライブセンターやコミュニティセンター、公民館等で、環境に関する学習会等が市民団体などの主催により開催されています。

また、市主催による施設等見学会、環境学習会、自然観察会や農業体験等の体験学習等多彩な取組みも行っています。

さらに、歴史・文化の保全・継承に関しても同様な取組みを進めています。

